



申18号

提出！

中央本線・青梅線をはじめとした八王子支社管内各路線の

安全・安定輸送の確保に向けた抜本的な対策実施を求める申し入れ

2月から3月にかけて複数回降雪があり、特に2月5日には広範囲で大雪警報が発表される等、降雪だけでなく積雪や凍結に対する対策が様々なメディアで繰り返し報じられる状況に見舞われました。そのような気象条件に対し八王子支社は一部駅間を走行する全列車や一部時間帯の優等列車に対して計画運休を行う等の対応を実施しましたが、様々な箇所で長時間に及ぶ輸送障害が発生したことにより車内で一晩過ごさざるを得なくなってしまったお客さま対応にグループ会社を含めた多くの社員が尽力しました。

過去には数日間にわたり運転見合わせになる等、降雪・積雪による輸送障害を繰り返し経験してきた八王子支社には、雪害対応のノウハウが備わっていると考えますが、今年も降雪に伴う輸送障害を発生させ多くのお客さまにご迷惑をおかけする事態となってしまいました。

輸送障害の原因は様々ありますが、想定できるリスクを取り去ることを積み重ねることで減らすことができる輸送障害は多々あります。対処を繰り返すのではなく、これまでの経験を活かした抜本的な対策を打たない限りお客さまからの信頼は得られませんし、安全・安定輸送の確保はできません。そのためには安全に対する要員や費用のカットを直ちに止め、支社を上げてトッププライオリティである安全の確保に傾注することを求め下記の通り申し入れますので、会社の真摯な回答を要請します。

申し入れ項目

1. 2月5～6日に発生した輸送障害の詳細な時系列と具体的な原因を明らかにすること。
2. 3月5～6日に発生した輸送障害の詳細な時系列と具体的な原因を明らかにすること。
3. 3月7～8日に発生した輸送障害の詳細な時系列と具体的な原因を明らかにすること。
4. 「特急列車を計画運休する条件」と「線区の一部区間を計画運休する条件」を具体的に明らかにすること。
5. 八王子支社管内各路線の安全・安定輸送の確保に向けて支社が実施する対策を「短期的なもの」と「中・長期的なもの」に分けて具体的に明らかにし、抜本的な対策を実施すること。